

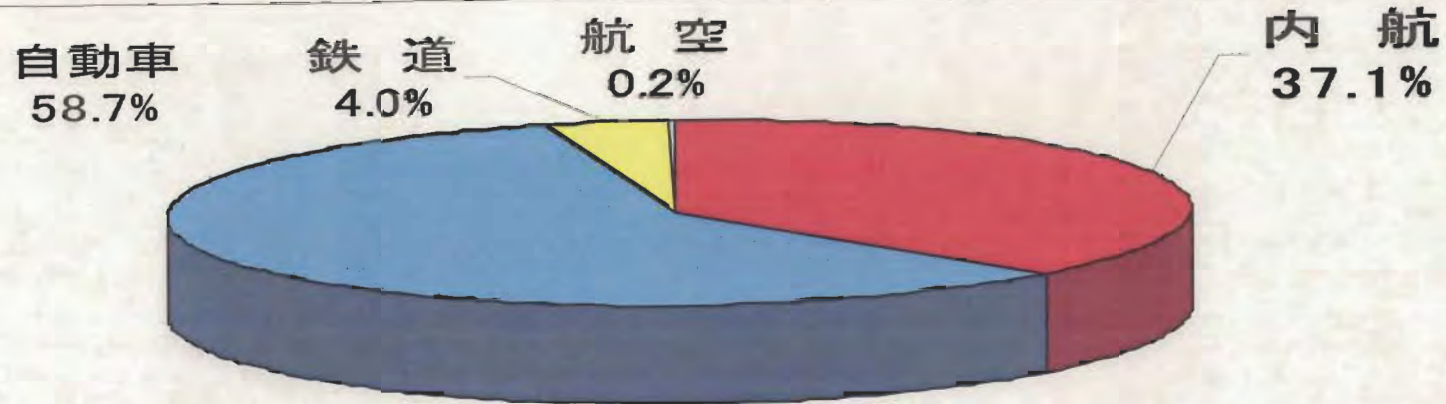
# 説明資料(内航海運の現状)

平成20年4月22日

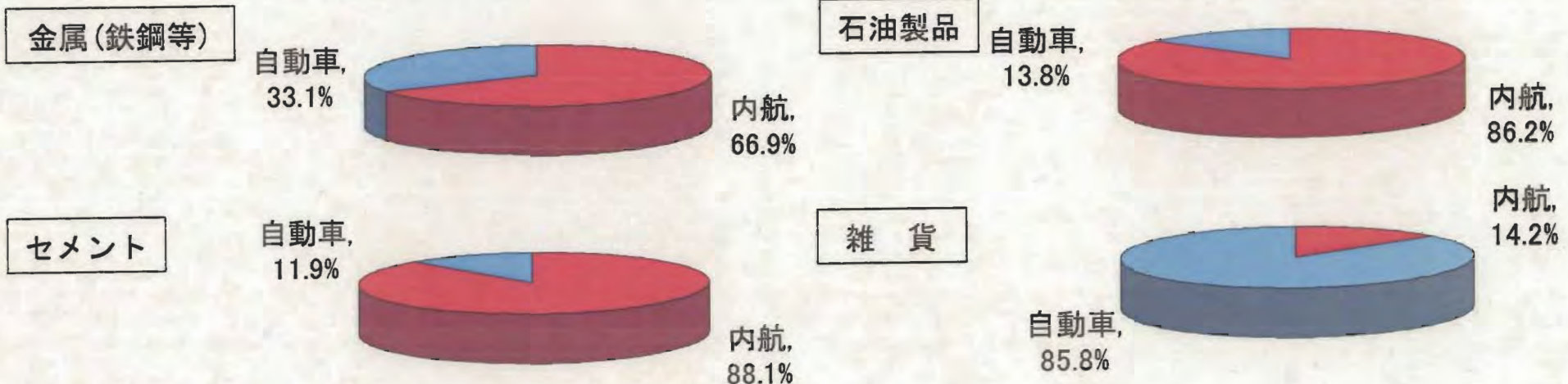
国土交通省 海事局 内航課

# 内航海運の重要性

内航海運は、国内物流の約4割を担い、鉄鋼、石油、セメント等産業基礎物資の約8割の輸送を担う重要な物流産業



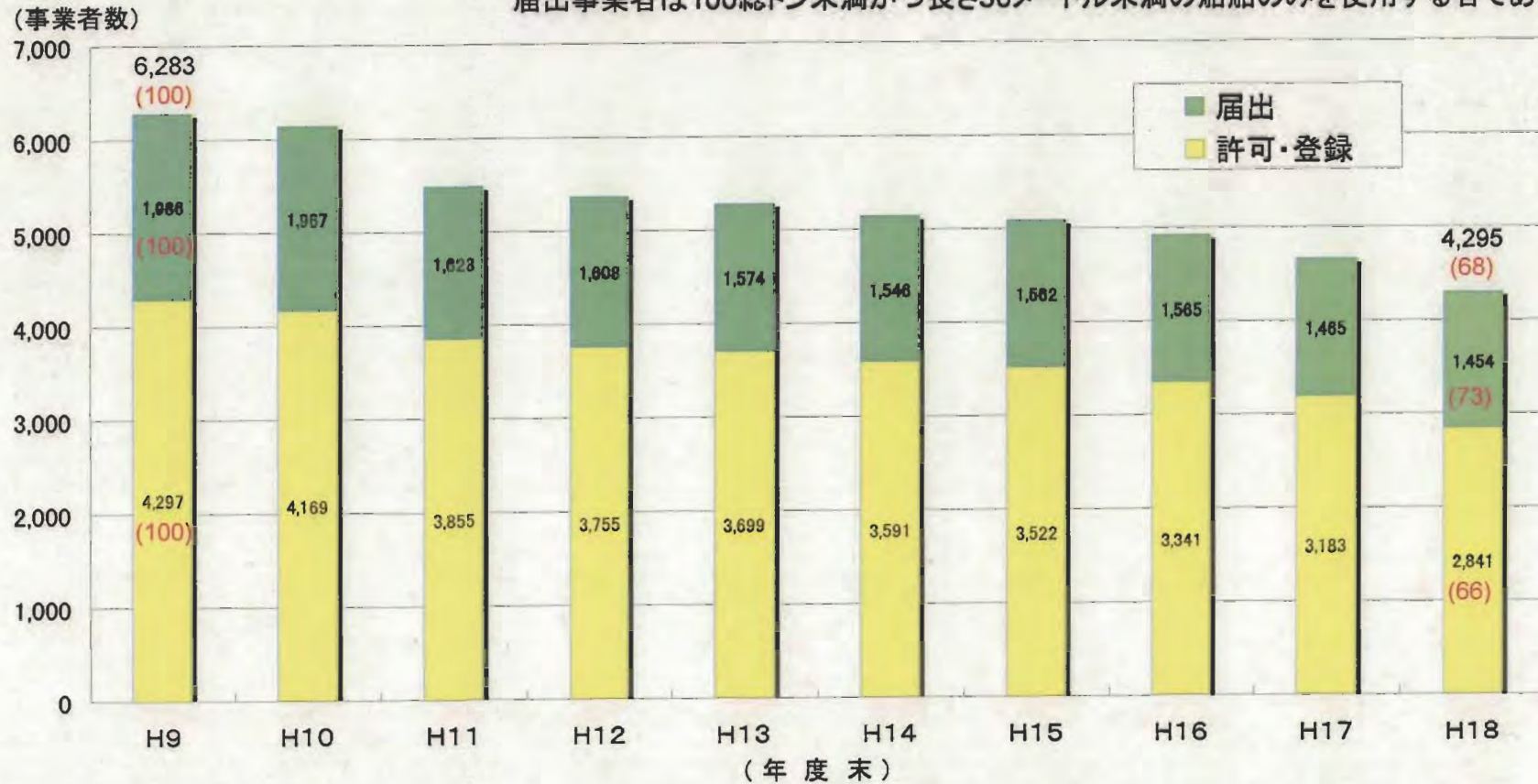
主要品目の内航輸送分担率 (トンキロベース：平成17年度)





# 内航海運事業者数の推移

登録事業者は100総トン以上又は長さ30メートル以上の船舶を使用する者、  
届出事業者は100総トン未満かつ長さ30メートル未満の船舶のみを使用する者である。



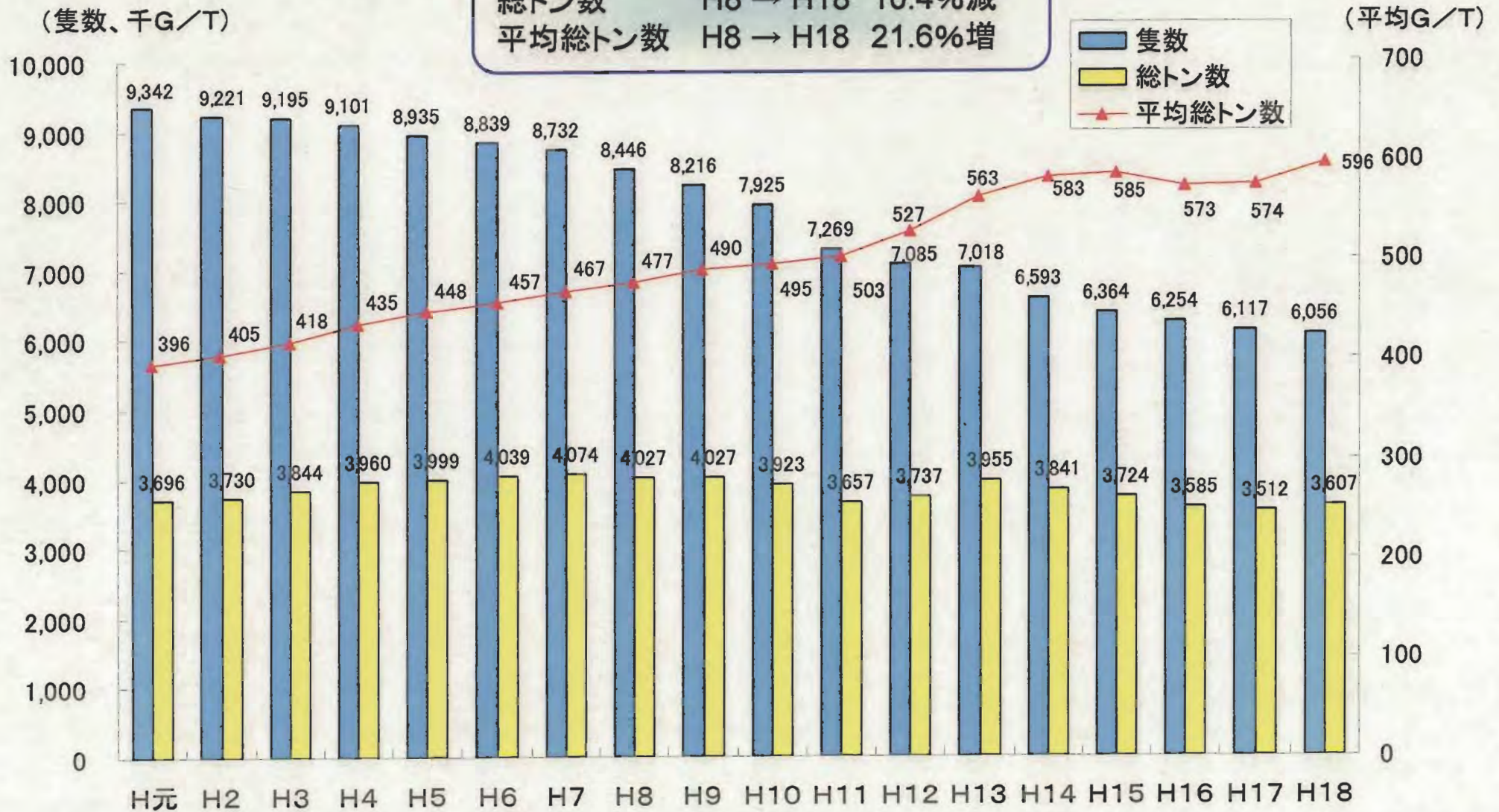
※いわゆる「一杯船主」と呼ばれる使用船舶が1隻以下の事業者で全事業者数の約7割を占めている。

(注) 国土交通省海事局資料より作成  
平成17年度からは改正内航海運業法の施行により、許可制から登録制へと移行している。



# 内航船の隻数の推移と船舶の大型化の傾向

隻数 H8 → H18 26.3%減  
 総トン数 H8 → H18 10.4%減  
 平均総トン数 H8 → H18 21.6%増



- 一隻当たりの平均総トン数 = 総トン数 / 隻数
- 国土交通省海事局資料より作成

(年度末)